



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月14日

上場会社名 株式会社フーバーブレイン 上場取引所 東  
コード番号 3927 URL <https://www.fuva-brain.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 興水 英行  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 石井 雅之 TEL 03-5210-3061  
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		調整後営業利益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	2,187	34.5	△5	-	△25	-	△15	-	△35	-
2023年3月期第3四半期	1,626	40.7	75	-	55	-	46	-	21	-

(注) 1. 包括利益 2024年3月期第3四半期 △32百万円 (-%) 2023年3月期第3四半期 26百万円 (-%)

2. 調整後営業利益=営業利益+M&Aにより生じた無形資産の償却費用及び取引費用+株式報酬費用+その他一時的費用

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	△6.81	-
2023年3月期第3四半期	3.99	3.98

(注) 2024年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	4,152	1,298	30.4
2023年3月期	3,226	1,430	43.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 1,262百万円 2023年3月期 1,396百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	2,950	26.2	0	-
	～ 3,150	～ 34.7	～ 50	～ △14.8

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	5,600,200株	2023年3月期	5,600,200株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	396,262株	2023年3月期	261,362株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	5,237,941株	2023年3月期3Q	5,338,838株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（2024年3月期の連結業績予想について）

連結業績予想については、2023年11月14日付公表「2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

（「調整後営業利益」の記載について）

当社は、業績目標を「2026年3月期 調整後連結営業利益5億円」に変更いたしました。これにより、「調整後営業利益」の実績を記載しております。

2023年11月14日付公表「2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」では、調整後営業利益の算出式について、「調整後営業利益＝営業利益＋M&Aにより生じた無形資産の償却費用＋その他一時的費用＋株式報酬費用」と記載しておりましたが、当社のM&Aに対する積極姿勢及び各項目の重要度・影響度を示すことを目的として、「調整後営業利益＝営業利益＋M&Aにより生じた無形資産の償却費用及び取引費用＋株式報酬費用＋その他一時的費用」へ変更して記載しております。なお、調整後営業利益の算出式の表示方法の変更であり、算出方法の変更ではありません。

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、業績目標を「2026年3月期 調整後連結営業利益5億円」とし、目標達成に向け成長事業の加速、基盤事業の拡大に取り組んでおります。

当社グループ（当社及び連結子会社）の当第3四半期連結累計期間については、ITツール事業のセキュリティツール商品「Cato SASE Cloud」が引き続き受注並びに新規導入が伸びており、売上高は四半期会計期間の過去最高を更新いたしました。セキュリティツール製品である当社開発セキュリティソフト関連製品については、有力販売代理店とのさらなるリレーション強化及び新規販売代理店の開拓・立ち上げに注力し、第2四半期連結累計期間までの遅れの挽回に取り組んでおります。

また、従前のセキュリティツールの提供に加え、セキュリティサービス「FB SAT（エフビーサット）」シリーズを開始し、セキュリティツール及びセキュリティサービスの充実による「セキュリティソリューションプラットフォーム」を構築し、提供製品サービスを拡大してまいります。

働き方改革ツール製品「Eye “247” Work Smart Cloud」は、デジタルマーケティングによる直接販売は概ね想定通りに推移しております。チェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズ株式会社の「Check Point Harmony Endpoint」と共に、外部脅威対策と内部不正対策を可能にする「クリスタルプロテクション」（2023年4月販売開始）については、パートナー企業とともに顧客開拓に取り組んでおります。

ITサービス事業においては、連結子会社GHインテグレーション株式会社（以下、「GHI」という。）については、同社の強みでもある韓国におけるITエンジニア人材（以下、「IT人材」という。）採用は計画どおり進んでおります。また、参画プロジェクトの終了した人材の別プロジェクトへの早期参画に努め、売上高拡大に取り組んでおります。

採用支援・人材紹介を提供する連結子会社株式会社アド・トップ（以下、「アド・トップ」という。）については、PMI（注1）を経て、月次での営業利益が黒字に転換しております。

当社グループの成長トリガーとしてのM&A及び投資については、投資専門子会社フーバー・インベストメント株式会社を通して、AI時代のサイバーセキュリティ人材不足の解消を目指すサイバーコマンド株式会社（以下、「サイバーコマンド」という。）との資本提携（注2）を行い、また、当社、サイバーコマンド及びジーエフホールディングス株式会社との3社で、ネットワーク・セキュリティの構築・運用に係る事業を共同して行う新設会社株式会社フーバー・クロステクノロジーズを設立いたしました。（注3）

（注）1. PMI：M&A成立後の「経営統合プロセス」（Post Merger Integration）

2. サイバーコマンドとの資本提携の詳細は、2023年11月16日付公表「当社連結子会社による第三者割当増資引き受けに関するお知らせ」及び2023年12月8日付公表「（開示事項の変更）当社連結子会社による第三者割当増資引き受けに関するお知らせ」をご参照ください。

3. 株式会社フーバー・クロステクノロジーズ新設の詳細は、2023年11月20日付公表「サイバーコマンド株式会社等との共同出資による新設会社設立（持分法適用関連会社化）に関するお知らせ」をご参照ください。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,187,251千円（前年同期比134.5%）となりましたが、売上構成の変化による売上総利益率の低下及びグループ拡大による販売費及び一般管理費の増加により、営業損益については、営業損失25,855千円（前年同期は営業利益55,794千円）となりました。経常損益及び親会社株主に帰属する四半期純損益は、外貨建預金等に係る為替差益12,223千円を計上し、経常損失15,182千円（前年同期は経常利益46,921千円）となり、子会社のPMI過程における組織再編に伴う特別退職金5,636千円を計上し、親会社株主に帰属する四半期純損失35,681千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益21,353千円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（ITツール事業）

当第3四半期連結累計期間の売上高は1,263,497千円（前年同期比118.8%）、セグメント利益は93,876千円（前年同期比60.9%）となりました。

（ITサービス事業）

当第3四半期連結累計期間の売上高は923,754千円（前年同期比164.0%）、セグメント利益は87,024千円（前年同期比93.9%）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、次のとおりであります。

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における資産合計の額は、前連結会計年度末に比べ925,073千円増加し、4,152,055千円となりました。これは主に、現金及び預金が78,521千円、前払費用が350,434千円及び長期前払費用が578,900

千円それぞれ増加したことによるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計の額は、前連結会計年度末に比べ1,057,749千円増加し、2,854,048千円となりました。これは主に、前受金が357,828千円及び長期前受金639,912千円それぞれ増加したことによるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計の額は、前連結会計年度末に比べ132,676千円減少し、1,298,006千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失35,681千円の計上により利益剰余金の減少及び自己株式99,946千円の増加によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2023年11月14日付公表「2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,415,633	1,494,155
受取手形及び売掛金	284,951	200,237
原材料及び貯蔵品	54,479	20,181
前払費用	318,915	669,349
その他	1,710	39,913
貸倒引当金	-	△1,042
流動資産合計	2,075,691	2,422,796
固定資産		
有形固定資産	23,296	22,414
無形固定資産		
のれん	221,463	203,744
その他	19,830	14,922
無形固定資産合計	241,294	218,667
投資その他の資産		
長期前払費用	626,910	1,205,811
その他	259,789	282,365
投資その他の資産合計	886,700	1,488,177
固定資産合計	1,151,290	1,729,258
資産合計	3,226,981	4,152,055
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	87,236	91,076
1年内返済予定の長期借入金	18,000	19,500
前受金	486,421	844,250
未払法人税等	19,712	922
引当金	12,200	2,020
その他	127,521	214,317
流動負債合計	751,092	1,172,086
固定負債		
長期借入金	66,000	52,500
退職給付に係る負債	29,543	34,235
資産除去債務	20,301	20,373
長期前受金	896,088	1,536,001
その他	33,273	38,850
固定負債合計	1,045,206	1,681,961
負債合計	1,796,299	2,854,048
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	796,631	796,631
資本剰余金	594,840	594,840
利益剰余金	12,192	△23,489
自己株式	△10,272	△110,218
株主資本合計	1,393,391	1,257,763
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,239	4,739
繰延ヘッジ損益	-	△306
その他の包括利益累計額合計	3,239	4,433
新株予約権	9,727	9,903
非支配株主持分	24,324	25,905
純資産合計	1,430,682	1,298,006
負債純資産合計	3,226,981	4,152,055

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	1,626,797	2,187,251
売上原価	968,721	1,463,539
売上総利益	658,075	723,711
販売費及び一般管理費	602,281	749,567
営業利益又は営業損失(△)	55,794	△25,855
営業外収益		
受取利息	192	12
為替差益	-	12,223
助成金収入	2,672	1,831
その他	378	328
営業外収益合計	3,243	14,396
営業外費用		
支払利息	-	147
為替差損	7,689	-
株式交付費	3,131	-
自己株式取得費用	-	2,133
創立費償却	-	857
持分法による投資損失	-	135
その他	1,294	450
営業外費用合計	12,116	3,723
経常利益又は経常損失(△)	46,921	△15,182
特別利益		
固定資産売却益	-	11
新株予約権戻入益	69	188
特別利益合計	69	199
特別損失		
固定資産売却損	-	187
特別退職金	-	5,636
特別損失合計	-	5,824
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	46,990	△20,807
法人税、住民税及び事業税	19,822	11,301
法人税等調整額	1,895	2,030
法人税等合計	21,718	13,331
四半期純利益又は四半期純損失(△)	25,272	△34,138
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,918	1,543
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	21,353	△35,681

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	25,272	△34,138
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,602	1,538
繰延ヘッジ損益	-	△306
その他の包括利益合計	1,602	1,231
四半期包括利益	26,875	△32,906
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	22,956	△34,487
非支配株主に係る四半期包括利益	3,918	1,580



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年5月15日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得を決議し、自己株式134,900株の取得を行いました。この取得により、自己株式が99,946千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において110,218千円となっております。なお、当該決議に基づく自己株式の取得につきましては、2023年7月11日をもって終了しております。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

1. 連結の範囲の重要な変更

第2四半期連結会計期間において、フーバー・インベストメント株式会社を新たに設立し、同社を連結の範囲に含めております。

2. 持分法適用の範囲の重要な変更

当第3四半期連結会計期間において、株式会社フーバー・クロステクノロジーズを新たに設立し、同社を持分法適用の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	ITツール事業	ITサービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,063,557	563,240	1,626,797	-	1,626,797
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	19,093	19,093	△19,093	-
計	1,063,557	582,333	1,645,890	△19,093	1,626,797
セグメント利益	154,093	92,680	246,774	△190,979	55,794

(注) 1. セグメント利益の調整額△190,979千円には、一時的に発生する子会社取得関連費用△4,100千円、のれんの償却額△12,788千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△174,090千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結累計期間において、株式会社アド・トップを連結の範囲に含めたことに伴い、ITサービス事業の資産として、のれんが53,367千円増加しております。なお、当第3四半期連結会計期間末においては、取得原価の配分が完了していないため、のれんは暫定的に算定された金額であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ITツール事業	ITサービス 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,263,497	923,754	2,187,251	-	2,187,251	-	2,187,251
セグメント間の内部売 上高又は振替高	252	38,023	38,275	1,800	40,075	△40,075	-
計	1,263,749	961,778	2,225,527	1,800	2,227,327	△40,075	2,187,251
セグメント利益	93,876	87,024	180,901	930	181,831	△207,687	△25,855

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない投資事業であります。

2. セグメント利益の調整額△207,687千円には、のれんの償却額△12,788千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△194,898千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）  
該当事項はありません。